



ひめじ

YMCA 11月 NEWS LETTER

姫路YMCA聖句 「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」 ローマ信徒への手紙12章15節
 発行人:NPO法人姫路YMCA 発行所:揖保郡太子町原白毛山921 TEL079(277)1872 URL <http://www/himeji-ymca.org>



「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望は私たちが欺くことはありません。」

ローマ信徒への手紙5章4～5節

10月25日に広島YMCAの創立75周年記念式典に参加し、大変感銘を受けました。広島YMCAが創立したのは1938年、日中戦争が勃発し、国家総動員法が発令され戦争への道をたどる軍国主義まっただ中の時代でした。しかも広島は当時軍都と呼ばれるくらい戦争においては重要な拠点でした。聞くところによると広島YMCAの発会式は憲兵隊の監視の中で行なわれたとのことでした。その広島に平和を作り出すYMCAが誕生しました。今から考えるとよくYMCAが設立できたと思います。しかし発会後は多くの青年が戦地に送り出されたためYMCAの活動も休止状態となりました。終戦直前の1945年8月6日には世界で初めての原子爆弾が広島に投下され一瞬のうちに40万人の命が奪われ、広島は焦土と化しました。そのような中で、その年の1945年11月には「広島の復興は



YMCAから」を合言葉に活動を再開しました。そして、被爆1周年には全世界に向けて広島YMCAから「平和宣言」を行いました。また、広島平和記念公園にある一羽の折鶴を両手に支えた少女の像「原爆の子の像」の建立も、1955年にYMCAの少年会員で原爆の後遺症で亡くなった佐々木貞子さんの追悼式をYMCAで行ったことに端を発しています。この像を建立する運動はまたたく間に少年・少女の全国的な運動となり1958年5月5日に完成し除幕式が行われました。「原爆の子の像」の下には「これはぼくらの叫びです。これは私たちの祈りです。世界に平和をきずくための」という言葉が刻み

込まれています。

記念式典Ⅲ部で「いのちと平和のコンサート」がありました。バックのスクリーンにはパレスチナと東日本大震災の情景が映し出されました。どの写真もいのちを繋ぐものと感じました。その前でパレスチナのオリーブの木と東日本大震災被災地の松の木から作られたパンフルートの演奏がありました。その音色は心に沁みました。司式の立野泰博氏牧師が語られた「苦難は誰もいやです。しかし苦難にあった人であるからこそ、その辛さに耐え、悲しみや心の痛みが分かります。そうした中から希望は生まれるのです。」

11月10日～16日は世界YMCA/YWCAの合同祈禱週です。この祈禱週は誰もが待ち望むより良い平和な世界を築くことを願って実施されます。そしてこの祈禱週と前後して全国のYMCAでは国内・国際協力募金を実施されます。皆様におかれましても様々な災害や戦争、貧困、病気、飢餓等の困難な中にある人を覚えて募金にご協力をお願いします。 八杉光春

スキーキャンプの魅力

姫路YMCAリーダー 二回生 長尾 匡浩



初めてYMCAのスキーキャンプに参加したのは小学5年の年末スキーでした。初めてのスキーは不安ばかり。うまくなれるのか、一緒に過ごす子たちと仲良くなれるのか不安でした。けれど2泊3日のキャンプでは、リーダーが僕にやさしく教えてくださり、曲がるまで上達できました。それからは当時のあったスキーキャンプのほとんどに参加し、初心者から手の届かなかった上級者への道を歩むことができました。また、一緒に参加していた子たちとも仲良くなり、どのスキーキャンプに行ってもみんなと顔を合わせ、キャンプを楽しく過ごせることがうれしい限りでした。

スキーキャンプというとスキーだけかと思いましたが、部屋での生活やリーダーたちからの企画などたくさんプログラムがあり、笑わせてもらい、楽しませてもらい、また次も行きたいと思う気持ちが高校まで続き、リーダーとなった今でもずっとあり続けています。それほどこのスキーキャンプには参加した人たちにしか味わえない魅力があるのだと思います。

11月の予定

- 11月 3日(日) 天満子ども会デイキャンプ
カンボジア・ラオスタディーツアー出発
(姫路Gワイズ) ～11日
- 11月 8日(金) YYサロン
姫路ワイズ例会
- 11月 9日(土) 森の幼稚園(生サボ)
- 11月10日(日) 世界YM/YW合同祈禱週(～16)
- 11月15日(金) YYサロン
- 11月17日(日) 野外定例11月活動・
街頭募金 16:00～17:00
- 11月20日(水) 姫路ワイズ役員会
- 11月22日(金) YYサロン
- 11月23日(日) 森の幼稚園(生サボ)
姫路Gワイズじゃがいも販売
- 11月24日(土) 里山クラブ
11月活動
- 11月29日(金) YYサロン



浅田せいあさん作

10月の活動報告



10/13 リーダートレーニング 「博士キャンプ」

夏が終わり、太子キャンプ場でできることをもっと知りたい！という一回生の言葉から行われた「博士キャンプ」。山登りから始まり、クラフト・キャンプソングとバスでのゲーム講習・応急処置講習などを一日をかけて行いました。秋と冬に向けてのキャンプ意欲を高めるプログラムとなりました。

10/20 野外活動クラブ

今月の野外活動クラブでは、10月ということでハロウィーンにちなんだプログラムが展開されました。仮装パーティに招かれたメンバーたちは、午前と午後を利用してそれぞれの思うお化けに変装しました。パーティではハロウィーン物語を応用したゲームやトイレットペーパーでミイラ作りなどをして楽しみました。



10/26・27 デイキャンプ

前日の台風の影響で中止が危ぶまれましたが、天候も晴れとな

り、穏やかな一日を過ごすことができました。今回は、津市場北子ども会と春日野子ども会の子も達が参加しました。両子ども会とも初めての参加でしたが、子ども達から「こんな楽しいのは初めて！」「また来年も来たいなあ」という声を聞くことができました。広場で走り、山登りをし、頂上でみんなと一緒に焼マッシュマロを食べる。秋を満喫したキャンプでした。

10/27 国際交流フェスティバル in YY祭り

この国際交流フェスティバルは外国の文化や食べ物を紹介される姫路市の一大イベントです。ステージでは外国の歌やダンス、サブステージは手品や大道芸、ケン玉など様々な催しがありました。また世界の食べ物コーナーではそれぞれの国の代表的な食事が屋台で販売され、にぎわっていました。姫路YMCAも綿菓子、スーパーボールすくい、フリーマーケットを出店。ユースリーダー、姫路ワイズメンズクラブ、職員、OBと力を合わせ笑顔で参加者の皆さんと交流しました。中でも野外活動のメンバーやYMCA卒業生、元メンバーなどYMCAの幟(ぼり)を見て訪ねて来てくださり楽しいひと時を過ごしました。

この収益金は東日本大震災支援金、国際協力募金に用いさせていただきます。献品していただいた方、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



「野外活動を通じた人材育成」 神戸高専副校長 橋本好幸氏
姫路YリーダーOB、キャンプネーム「トド」48歳
姫路ワイズメンズクラブ8月9日例会ゲストリーダーより

はじめに、「姫路YMCAのリーダー活動を体験して自分自身が得たもの」という内容で、①YMCAでは子どもたちやリーダー仲間、ワイズ等幅広い年齢層の人たちと交わることでコミュニケーション能力が身についた。②また人の前に立って話をすることやミーティングの内容をまとめる等を通して指導力が身についた。③リーダー会では学年が上がっていくにつれ責任も大きくなり、みんなを引っ張っていくための責任感や計画性が身についた。そして、責任を果たした時に達成感を味わうことができたということをお話された。現在高専では学生が社会性を身につけること、周りの環境に適応する能力を育成することを目的としてインターンシップ制度を取り入れているが、自分はYMCAのリーダー活動を通して社会人としてのマナーが身についたと話された。

次に「現在の学生教育を背景に野外活動を通じた人材育成の可能性について」という内容では、現在の学生はコミュニケーションをとる方法として、携帯電話やメールが中心となっている。その結果、あいさつをしたり、対面で話すことが苦手になっている。また電子ゲームやマルチメディアで遊ぶことが多くなり、個人プレー、無責任、創意工夫がなく、結果として考える力が衰えてきている。授業においても電卓やコンピュータに依存しているため、計算ができない、漢字が書けないなどの問題が出てきている。またデータ等もインターネット等で簡単に収集することができるため、苦労や努力をすることが苦手で我慢強さや集中力がなくなってきている。このような能力は以前は通常の遊びや生活を通して養われていたものであるが、現在生活においては経験することが極めて難しくなっている。このような能力を養成することができるのは現在においては野外活動ではないか。宿泊を共にし、知らない人とコミュニケーションをとり、自然の中でいろいろなことに仲間と一緒にチャレンジする。ここに野外活動の可能性がある。YMCA活動を通して、キャンプに来る子どもたちやリーダーが社会性や生きていく上での必要な能力を身に付けることを願っていると締めくくられました。

11月の里山クラブは・・・ クリスマスリースづくりと ローストチキンに挑戦！！



クリスマスのシーズンが近づいてきました。山にある素材を使ってクリスマスリースを作りダッチオーブンでローストチキンを作り一足先に森のクリスマス！！

2013年11月24日(日) 10:00～15:00

集合&解散 太子キャンプ場

参加費用 大人 2,000円 子ども 1,000円

参加要項は姫路YMCAホームページに掲載しています



YMCA国内・国際協力募金

1. 東日本大震災復興支援のために

全国のYMCAでは被災地の仙台YMCAと盛岡YMCA(宮古)、石巻(東京YMCA)がボランティアセンターを立ち上げ継続した支援活動を行っています。

2. 世界の災害への緊急援助、医療援助活動

災害への緊急援助、HIV/AIDSの予防と啓発、地球市民教育プログラムのために

第28回 姫路YMCA街頭募金

下記の日程で街頭募金を行います。
皆様の御協力をお願いします。

日程: 2013年11月17日(日) 16:00～17:00

集合: 山陽百貨店大手前南口(山陽電車姫路駅1階)

15:45 集合

* 11月15日(金)までにFAXにてお申込みください。

* お子様だけの参加(小学生～)も歓迎いたします。



NPO法人 姫路YMCA
URL <http://www.himeji-ymca.org/>

〒671-1502 揖保郡太子町 原 白毛山921
TEL 079-277-1872 FAX 079-277-1803